



2026 年 10 月 15 日

株式会社 ARCALIS

ARCALIS 南相馬事業所が 2026 年度グッドデザイン賞を受賞

株式会社^{アルカリス}ARCALIS（本社：福島県南相馬市、代表取締役社長 CEO：高松 聡、以下「ARCALIS」）は、株式会社大林組と共同で応募した「ARCALIS 南相馬事業所（本社）」のエントランスホールが、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「2026 年度グッドデザイン賞」を受賞したことをお知らせします。



GOOD
DESIGN
AWARD
2026



■ 受賞対象の概要

ARCALIS は、メッセンジャーRNA（以下「mRNA」）医薬品の受託開発製造（以下「CDMO」）事業を展開しています。受賞対象となった「ARCALIS 南相馬事業所（本社）」は、mRNA 医薬品の研究開発から商業製造まで一気通貫で受託するサービスを提供し、福島発・世界最先端のバイオ医薬品産業の発展に取り組んでいます。

今回受賞したエントランスホールは、「世界中に安心・安全を届け、新星のように光り輝きたい」という ARCALIS の強い想いを、無限遠の星空が広がるダイナミックな空間として表現しています。





■ デザインのポイント

1. 社名の由来となった「春の星空」の再現

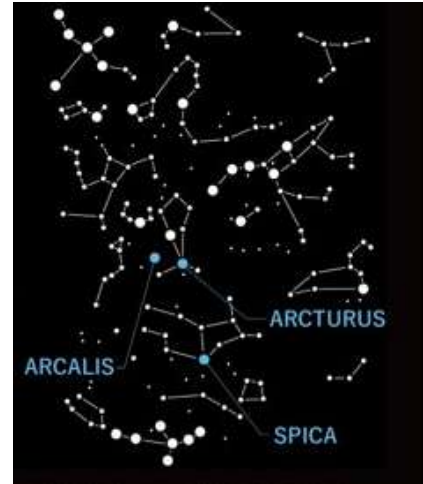
出資を受ける ARCTURUS（アークトゥルス）社に寄り添う新星「ARCALIS」のように、光り輝く未来を目指すという想いを全天星図に重ね合わせました。

2. インフィニティ・ミラー（無限鏡）による深く黒色の夜空

天井を光の反射を排除した黒色で統一し、壁面の上部（一般的な天井高より上の空間）に高反射ミラーガラスを採用することで、全方向に無限に広がる奥深い夜空をつくり出しました。

3. 極小口径のピンホールダウンライトによるリアルな煌めき

実際の星に近い強く小さな光が放たれるサイズ違いの極小口径ピンホールダウンライトを全天星図に合わせて配置し、春の星空を完成させました。



■ デザインが生まれた背景と成果

ARCALIS の社名は、うしかい座の一等星「ARCTURUS」の近傍で発見された新星に由来し、世界中に安心・安全な未来を届ける使命を表しています。本施設を訪れるお客様に対して、ARCALIS の理念や施設の価値を五感で伝える場としてこのエントランスは構想されました。

製薬工場の特性上、製造室の天井高が高くなりがちな構造上の特徴を逆手に取り、高反射ミラーガラスを用いることで縦方向のボリュームを横への無限の広がりへと昇華させました。訪れた人々が星空を見上げながら、共に明るい未来を語り合う空間が誕生しています。

<グッドデザイン賞審査委員による評価コメント>

特に最先端の医薬品製造に特化した施設においては、第一印象は重要である。星に由来する社名からインスピレーションを得たエントランスは、単純な到着の過程を記憶に残る空間体験へと変化させる。どこまでも続く満天の星空の下に真っ白な空間が広がり、光と暗闇の鮮やかなコントラストを生み出している。純白、漆黒、鏡、ピンホール照明を緻密に組み合わせることで、臨床的な精密さと空間が持つ詩的な趣が上品に調和している。手法自体は非常にシンプルであるがその効果は絶大で、独自のアイデンティティといつまでも残る感動を創出している。

以上

<ARCALIS について>

ARCALIS は、福島県南相馬市に本社を置く国内初の mRNA CDMO です。2023 年 7 月に、南相馬事業所に原薬棟を竣工し、mRNA ワクチン原薬の商用生産・出荷実績を積み上げています。また、2026 年 2 月には原薬棟に隣接して製剤棟を竣工し、有事の際にはデュアルユースで迅速に感染症ワクチンを国内生産できる体制を構築しています。ARCALIS は、国内外の製薬企業、パイオベンチャーに mRNA ワクチン・医薬品の開発から製造までの一貫したサービスをワンストップで提供します。

<https://corp.arcalis.co.jp/>